

令和7年度

(自)令和7年4月1日～(至)令和8年3月31日

社会福祉法人 高瀬会 事業報告書

法人事業の概要報告	1頁
社会福祉事業	
介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム 古座川園	3頁
軽費老人ホーム ケアハウス 湯ごりの郷	7頁
介護老人保健施設 老人保健施設 あじさい苑	9頁
通所リハビリテーション	12頁
訪問リハビリテーション	14頁
在宅複合型施設 グリーンヴィレッジ古座川	
短期入所施設 グリーンヴィレッジ古座川	16頁
高瀬会訪問介護ステーション	19頁
グループホーム もみの樹	21頁
高瀬会地域密着型バーデンライフ・ケアセンター 湯ごりの郷	
グループホーム 湯ごりの郷	23頁
小規模多機能ハウス 湯ごりの郷	25頁
ふれあいサロン ゆかし庵	27頁
高瀬会第2訪問介護ステーション	29頁
古座川町高齢者生活福祉センター ささゆり	31頁
公益事業	
南紀ケアプランセンター	33頁
南紀ケアプランセンター那智勝浦	36頁
南紀ケアプランセンター串本	38頁
高瀬会訪問看護ステーション	41頁
配食サービスセンター	43頁
湯ごりの郷配食サービス	44頁
たかせ会記念診療所	45頁
人材育成事業	46頁

法人事業の概要報告

長引く世界情勢の緊迫を背景に物価高騰が進む中、当法人におきましては、人口減少と少子高齢化の影響もあり、職員の確保などの難しい事業運営が続きました。

こうした状況の中、令和7年度も法人理念「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」にもとづき、県や町をはじめとする関係機関と連携のうえ事業運営を継続し、地域の社会福祉法人としての役割を担うため、安定した介護サービスはもとより、より質の高いサービスの提供に向けて役職員一同取り組んでまいりました。

1. 法人の組織強化

法人組織のガバナンス強化をはかるため、公益性・非営利性を担保しつつ、適宜な職員の異動配置を実施し、事業の発展性・継続性を考慮した体制づくりを進めるとともに、委託会計事務所による月次巡回監査指導を実施し、適正な財務運営に努めました。

2. 感染症対策の強化

新型コロナウイルス感染症などに対応すべく「感染症対策委員会」において、情報の共有をはかるとともに、対応を協議し、職員の感染症に対する意識を更に高めました。また、感染症発生時には、関係機関との緊密な連携や、職員の適切な配置・運用等により、感染拡大防止と、迅速な鎮静化をはかりました。

3. 防災対策の強化

火災・地震・台風などの様々な災害発生から、ご利用者様の安全確保をはかるため、「業務継続計画」にもとづき非常災害時の避難訓練を実施するとともに、非常階段・スロープなどの点検を行い、災害時の避難経路確保ならびに、非常用備蓄品の整備など、対策の強化に努めました。

4. 社会福祉法人としての地域貢献

社会福祉法人の責務である地域交流などの公益的な取り組みについては、古座川町役場主催の「クリーンキャンペーン古座川の大そうじ」や「古座川の秋まつり」に参加行くとともに、法人による利用者負担軽減の実施や、中学生を対象とした福祉体験学習の受け入れ、和歌山県社会福祉協議会主催の「ふれあい作品展」へのご利用者様の作品展示などを行いました。

5. 自立支援介護・認知症ケアへの取り組み

ご利用者様が可能なかぎりご自分でできることが維持できるよう、機能訓練指導員を中心に、ご利用者様個々の状態について計画を作成し機能訓練を実施しておりましたが、機能訓練指導員の退職により、日常生活動作の生活リハビリを中心とし、生活の中での目標を達成できるよう支援しました。

水分摂取量では、ご利用者様の一人ひとりの状態を検討し、必要な水分量を設定し、無理なく摂取できるように支援しました。

認知症に起因する症状については、精神科医師と相談しながら対応致しました。

6. 身体拘束廃止への取り組み

「運営委員会」の中で、身体拘束廃止に向けた検討を行いました。虐待や身体拘束について職員研修を年間2回行い、虐待の起こり得る状況、身体拘束による弊害について理解を深めました。身体拘束に該当するケースはありませんでした。

7. 生産性向上への取り組み

介護労働の負担軽減を目的に、低床、3モーターのセンサーベッド25台を和歌山県介護テクノロジー定着支援補助金に申請し導入しました。介護機器の導入や今後の介護の展望についての研修会に参加しました。

8. 日常生活支援

(1) 食事については管理栄養士を中心とした栄養マネジメント計画書を作成し、ご利用者様の状態に応じた食事形態に柔軟に対応しました。また高カロリー補助食品などを積極的に使用し、ご利用者様の状態維持が図れるよう支援しました。

(2) 入浴については、ご利用者様の状態に応じて入浴していただけるよう、リフト浴を活用し、安全に入浴できる状況を検討しながら実施しました。

(3) 排泄について、日中は可能な限りトイレでの排泄ができるよう支援をおこないました。ご利用者様の状態に合わせた適切な排泄支援について検討を行いました。

9. レクリエーション・機能訓練

集団での活動や行事については、季節ごとのイベントを実施しご利用者様に楽しんでいただけるように努めました。毎日の生活の中で取り組める活動や体操なども充実していければと考えています。

外出の機会や地域との交流が少ない現状が課題となっています。

10. 地域との連携・交流行事

感染症対策は段階的に緩和されましたが、断続的に感染症が繰り返し地域の中で

見られたため、他事業所との交流や法人内外の行事、地域への行事へはあまり参加できませんでした。

11. 入所検討委員会の運用

入所検討委員会を実施し、入所指針に則り、公正な入所判断を行うよう心掛けて実施・運用しました。

12. 法令遵守の業務履行

ハラスメント対策や人権研修など適正な事業運営に必要な研修等を実施し法令遵守に努めました。

令和7年9月11日 和歌山県より運営指導を受け、施設の運営状況、介護請求の状況について確認をいただき、改善が必要な個所について対応を行いました。

特別養護老人ホーム古座川園 令和7年度 利用者実績

(1) 市町村別入所者数（令和8年3月31日現在）

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	新宮市	他	合計	R6年度	R5年度
男 性	5	5	1	0	0	0	11	9	10
女 性	16	15	3	1	0	0	35	37	36
合 計	21	20	4	1	0	0	46	46	46
待機者数	5	9	1	0	0	1	16		

(2) 年齢別入所者数（令和8年3月31日現在）

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計	最高齢	R6年度	R5年度
男 性	0	1	5	5	0	11	95	94	96
女 性	0	5	13	17	0	35	99	101	102
合 計	0	6	18	22	0	45	平均88.3	平均87.9	平均86.3

(3) 介護度別入所者数（令和8年3月31日現在）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均	R6年度	R5年度
男 性	0	1	3	6	1	11	3.6	3.5	3.6
女 性	0	0	8	17	10	35	4.0	4.0	4.1
合 計	0	1	11	23	11	46	3.9	3.9	4.1

(4) 入退所実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度	R5年度
入 所	3	3	2	2	0	1	1	3	0	2	1	3	21	18	15
退 所	2	3	0	0	1	1	3	0	4	2	2	2	20	19	15

退所者の平均在籍年数	退所者数	平均年齢	介護度	平均在籍年数
R7年度	20	88.3	4.4	1.7
R6年度	19	93.7	4.4	2.9
R5年度	15	92.6	3.9	2.4

(5) 月別延べ入所者数実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度	R5年度
入 所	1281	1327	1356	1512	1525	1460	1468	1447	1442	1401	1249	1428	16,896	16,991	16,570
短期入所	40	50	43	0	0	0	0	0	0	0	12	31	176	85	487
合 計	1321	1377	1399	1512	1525	1460	1468	1447	1442	1401	1261	1459	17,072	17,076	17,057
1日平均	44.0	44.4	46.6	48.7	49.1	48.6	47.3	48.2	46.5	45.1	45.0	47.0	46.8	46.8	46.2
稼働率	88	88.8	93.2	97.5	98.3	97.3	94.7	96.4	93	90.3	90	94.1	93.55%		

(6) 身体拘束ゼロへの取り組み実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7) ターミナルケア取り組み実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	退所者割合
利用者数	1	0	0	0	1	1	2	0	2	1	1	2	11	55%

(8) リスクマネジメント報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6年度	R5年度
ヒヤリハット	132	94	119	76	74	92	106	88	88	136	56	94	1,155	1,061	714
事故報告	0	1	3	4	1	4	3	1	1	1	1	7	27	14	37
苦情受付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

軽費老人ホーム ケアハウス 湯ごりの郷

1. 運営方針について

ご利用者様自身が持つ能力を活かし、なるべく自立した生活ができるように支援を行いました。また、役割や生きがいをつくりながら、個別性を尊重した暮らしになるよう努めました。

2. ユニットでのケアを活かした個別ケアの推進

ご利用者様との信頼関係を深めて一人ひとりの個性を正しく理解し、会議等を通じて、職員間で情報共有できる体制をつくりました。個性を尊重し、役割や生きがいづくりなどの個別ケアを推進しました。

3. 安定的な収入源の確保

ご利用者様の健康を維持できるよう、医療機関と連携を取りながら健康管理に努め、できる限り入院、退去が無いように努めました。また、空床ベッドの有効利用を促進し、ショートステイの受け入れを行いました。

4. 非常災害および緊急時の対応と事故防止、感染症対策

非常災害時には、迅速・適切に対応できるように業務継続計画を整備し、訓練を実施するとともに、地域とも共同で訓練を行いました。また、各委員会を中心に、定期的に研修を開催し理解を深め、ヒヤリハット報告や事故報告書等の検討を行い、事故の再発予防や、感染症のまん延を防止し、健康で安全な生活が送れるように取り組みました。

5. 虐待防止、身体的拘束の廃止と尊厳の保持

ご利用者様の尊厳を守るため、虐待、身体拘束などの行動を制限する行為は、行っておりません。また、虐待防止委員会及び身体的拘束適正化委員会を中心に、定期的に研修を重ねて、全職員が周知徹底し、ご利用者様の尊厳が保持できるように取り組みました。

6. 苦情要望への対応

日頃のご利用者様の生活の様子を、積極的に連絡、報告しご利用者様やご家族様から意見や要望を聴かせていただき信頼関係の構築に努めました。また、苦情要望が発生した場合は、速やかに真摯に対応するように心がけ、いつでも心地よくサービスを受けることができるよう努めました。

7. 地域の一員としての生活支援

周辺地域での感染症の状況に注意しながら、感染予防に努めながら行事や外出などを実施しました。運営推進会議では評価、要望、助言をいただき、事業運営に活かしてまいりました。

8. 人材の育成、確保

介護テクノロジーを導入し、活用することで職員の負担軽減、意欲向上に努めました。事業所内では研修を計画的に開催し、専門職としての技術、知識の向上に努めました。

軽費老人ホーム ケアハウス「湯ごりの郷」令和7年度利用者実績

(1)市町村別構成(令和8年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	古座川町	その他	合計
男性	4	1	0	1	0	0	6
女性	19	1	0	0	3	0	23
合計	23	2	0	1	3	0	29

(2)年齢別構成(令和8年3月31日現在)

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計
男性	0	0	2	4	0	6
女性	0	0	4	18	1	23
合計	0	0	6	22	1	29

(3)介護度別構成(令和8年3月31日現在)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	1	1	2	2	0	6
女性	7	9	2	5	0	23
合計	8	10	4	7	0	29

(4)月別入所者数

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度合計
延利用者数	713	782	798	860	878	834	874	840	856	832	798	875	9,940
稼働率%	82.0%	87.0%	91.7%	95.7%	97.7%	95.9%	97.2%	96.6%	95.2%	92.5%	98.3%	97.3%	93.92%
一日当たり平均	23.8	25.2	26.6	27.7	28.3	27.8	28.2	28.0	27.6	26.8	28.5	28.2	27.24
短期利用	8	23	10	18	9	0	3	1	3	5	6	0	86
入居者数	1	3	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	10
退去者数	2	3	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	8

(5)リスクマネジメント事故報告件数

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度合計
事故報告	6	4	14	9	8	9	11	4	5	10	4	4	88

(6)入所待機者数(令和8年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	古座川町	合計
男性	4	0	2	1	1	8
女性	18	7	1	1	2	29
合計	22	7	3	2	3	37

老人保健施設 あじさい苑

(施 設)

1. 運営方針について

法人理念「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を念頭に、尊厳の保持と自立支援を目的とし、生活機能向上をめざしたリハビリテーションによる在宅復帰および在宅療養支援、看取りケア、認知症ケアなど、地域から求められる施設サービスに努めました。年間延べ利用者数は 26,841 名(対前年比 94.5%)、1 日平均利用者数は 73.3 名となりました。3 年連続稼働率上昇を続けてきましたが、退所者増加(60 名→72 名)、感染クラスター等による入所制限の影響で大幅に目標稼働率を得ることができませんでした。制度の流れにある介護テクノロジーの導入、介護 ICT、介護 DX による地域連携の準備に努めました。

2. リハビリテーションによる在宅復帰支援

生活機能の維持向上を目指す効果的なリハビリテーションを実施し、日常生活動作や精神機能の向上をはかることで在宅復帰支援に取り組みました。また、普段から在宅生活への移行をめざした外泊や外出の支援に努めることで自宅生活再開への自信回復に努めました。年間延べリハビリ実施者数 6,477 名(対前年比 88.7%)内、短期集中加算リハビリ実施者 637 名(同 108.3%)、短期入所個別リハビリ加算実施者 376 名(同 149.2%)とリハビリ強化に努めました。そして、在宅復帰者数は、年間延べ 31 名(同 86.1%)の自宅生活再開を支援しました。

3. 認知症ケアへの取り組み

認知症の病気の理解、人格を尊重した専門性ある支援を行うことで、あじさい苑の生活が穏やかに過ごすことができるよう努めました。また、お客様への倫理的配慮、価値観を尊重することスタッフ間で確認しあい、身体拘束等の行動制限や不適切なケアをなくすようチームで取り組みました。

4. ターミナルケアによる看取り介護支援

医師の終末期診断をもとに、お客様またはご家族様の意向を確認し、同意を得た上で、看取り(終末期)介護を実施しました。ご家族様との最期の時間を有意義に過ごせることができるよう、また、死後のご家族様の悲しみや混乱が少しでも軽減できますようグリーフケアにも努めました。年間 72 名の退所者の内、施設での看取り介護実施者数は 15 名(昨年 8 名)になっております。

5. 医療の提供

日常の健康や病状管理から、異常の早期発見や対応を行うことで、重症化の防止

をはかるとともに、所定疾患(肺炎・尿路感染症など)における治療や緊急時の医療処置など、施設で可能な医療を提供しました。所定疾患療養に係る治療については、年間延べ34名(治療日数165日加算算定)を行いました。医療ニーズに対応するためにも、医療スタッフの確保が喫緊の課題です。(昨年度46名256日)

6. 感染症、褥瘡発生予防対策の取り組み

感染症または食中毒の予防およびまん延防止対策のため、衛生管理推進員や感染症対策委員会の指示のもと、感染予防対策を実施しました。今年度は、8月と2月に新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生しました。ご家族様、県に報告、政府等の情報から、職員の感染対策意識を高めるとともに、「感染しない」「施設に持ち込まない」「広げない」「最小限にくいどめる」の共通認識のもと全力で取り組みました。褥瘡発生予防対策委員会では、予防的対応から発生後を早期に対応することで重篤化を防ぎました。

7. 短期的な利用における在宅療養支援

必要に応じた個別リハビリテーションや介護者のレスパイトなどを目的とした短期入所療養介護サービスを提供することで、在宅生活の継続を支援しました。空床利用も含め、年間108名、1,381日の短期入所療養サービスを提供しました。

8. 介護ロボットにおける快適な環境づくり

ロボット技術を活かした見守り支援機器全床導入の整備に努めました。(眠りスキャン80/80台、眠りスキャンアイ20/80台)行き届いた見守りを実現することで、転倒・転落等事故予防、適切な居室訪問により、お客様の安心、安全の確保をおこないました。また、介護ロボット整備事業の目的にある職員の労務環境の改善をおこない、法人理念にあるサービスの質の向上に繋がる効果が得られました。

9. 安定したご利用者様の確保

在宅復帰支援により、目標は達成しております。来年度は、地域貢献活動の実施により、基本加算型達成を目標に取り組みます。在宅復帰支援の地域理解を深め、よりスムーズな入退所を行います。

(在宅復帰・在宅療養支援等目標)

	目標値	7年度年間平均値
在宅復帰率(前6か月)	30%以上	75%
ベッド回転率(前3か月)	5%以上	5.5%
入所前後訪問指導割合(前3か月)	30%以上	0%
退所前後訪問指導割合(前3か月)	30%以上	0%
在宅復帰支援等指標(基本型)	20以上	21

老人保健施設あじさい苑 令和7年度利用実績

(1) 市町村別入所者数(単位:人) 令和8年3月31日現在

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	新宮市	その他	7年度合計	6年度合計
男性	4	5	1	0	1	0	11	8
女性	25	35	8	0	0	2	70	70
合計	29	40	9	0	1	2	81	78
比率	35.8%	49.4%	11.1%	0.0%	1%	2%	101.3%	97.5%

(2) 年齢別構成 (単位:人) 令和8年3月31日現在

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	6年度合計	最高齢	7年度比率	6年度比率
男性	0	2	2	6	1	11	103	14.9%	11.8%
女性	0	2	20	38	3	63	102	85.1%	88.2%
合計	0	4	22	44	4	74	—	100%	100%

(3) 介護度別構成(単位:人) 令和8年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	7年度合計	7年度 平均介護度	6年度 平均介護度
男性	2	4	2	2	1	11	2.64	2.44
女性	6	18	15	18	6	63	3.00	2.97
合計	8	22	17	20	7	74	2.82	2.71

(4) 月別入所者実績(短期利用含む)・・定員80名

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計	6年度合計
月別延人員	2,239	2,361	2,142	2,248	2,243	2,185	2,287	2,248	2,283	2,331	2,078	2,196	26,841	28,366
月平均(人)	74.6	76.2	71.4	72.5	72.4	72.8	73.8	74.9	73.6	75.2	74.2	70.8	73.5	77.7
稼働率(%)	93.3%	95.2%	89.3%	90.6%	90.4%	91.0%	92.2%	93.7%	92.1%	94.0%	92.8%	88.5%	91.9%	97.2%
在宅復帰者数	3	2	3	4	3	4	2	2	3	2	2	1	31	36

(5) 年間ヒヤリハット・事故報告件数

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計	6年度合計
ヒヤリハット報告	69	96	71	77	69	57	57	54	67	75	92	69	853	939
事故報告	3	3	1	4	6	5	4	7	7	3	5	2	50	41
苦情要望	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	6	15

(6) 入所待機者数(令和8年3月31日現在)

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	新宮市	その他	7年度合計	6年度合計
男性	4	6	2	0	1	0	13	8
女性	5	8	2	0	0	0	15	24
合計	9	14	4	0	1	0	28	32

老人保健施設 あじさい苑

(通所リハビリテーション)

1. 運営方針について

法人理念「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を念頭に、ご利用者様ができるだけ、居宅において自立生活を継続できるよう生活機能向上を目指したリハビリテーションおよび生活介護支援を提供しました。今年度は、必要に応じた短時間サービス提供にも取り組みました。ご利用者様は古座川町、串本町の2市町村から、年間延べ利用者数4,405名。1日の平均利用者数は14.3名と昨年度より1日2.1名減となりました。

今後は、古座川町、串本町を中心にご利用者様を積極的に受け入れ、在宅支援として必要なリハビリを提供し、地域ニーズに応えられるよう努めてまいります。

2. 意志や人格を尊重した生活支援

ご利用者様およびご家族様の意向や希望を尊重し、生活機能の向上をめざした支援を計画的に実施しました。また、ご利用者様一人ひとりの倫理的配慮、価値観を尊重することの認識を深め、職員の言葉使いや態度など、基本的な姿勢をはじめ、不適切な行為の検証を実施しました。

3. リハビリテーションによる在宅生活の継続支援

ご利用者様の在宅生活が長く継続できるよう、一人ひとりに目標を設定し、その目標に沿ったリハビリテーションを実施することで生活機能の維持向上をはかり、自律した社会生活が送れるよう支援しました。また、質の高いリハビリテーションにより、要介護状態から要支援状態に改善される方もおられ、生活機能向上を実現しております。

4. リスクマネジメントおよび苦情に対する取り組み

ヒヤリ・ハットや事故報告等をもとに、介護事故の未然防止や重大事故防止に取り組みました。また、日頃からご利用者様やご家族様からの意見や要望を聴く体制を整え、苦情の速やかな対応を行いました。

5. 安定したご利用者様の確保

古座川町、串本町のご利用者様を中心に新規、利用日の追加を行いました。平均利用者数は1日14.3名と、目標には届きませんでしたが、今後は積極的にご利用者様を増やし、安定した事業運営をはかります。

老人保健施設あじさい苑デイケア 令和7年度利用実績

(1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	稼働率(%)
6年度	127	321	1,334	1,497	1,019	536	249	5,083	46.8%
7年度	141	357	1,165	1,678	604	298	162	4,405	41.0%

(2) 実人員・延べ人員 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年比(%)
実人員	R6年度	44	47	48	51	51	52	52	55	54	54	54	52	614	102.0%
	R7年度	50	49	52	50	49	46	48	45	43	42	41	43	558	90.9%
延べ人員	R6年度	372	413	392	425	410	419	469	446	428	427	419	463	5,083	112.0%
	R7年度	444	430	416	436	353	360	398	322	351	319	284	292	4,405	86.7%

(3) 利用者平均介護度

平 均	R6年度	2.28
介護度	R7年度	2.17

(4) 年間営業日数

年 間	R6年度	310
営業日数	R7年度	307

※要支援1は0.5換算

(5) 地域別登録利用者数 (単位:人)

令和8年3月31日現在

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	その他	R7年度合計	R6年度
男性	5	11	0	0	0	16	21
女性	17	10	0	0	0	27	33
合 計	22	21	0	0	0	43	54

(6) 年齢別登録利用者数 (単位:人)

令和8年3月31日現在

65歳まで	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合 計
1	0	1	4	2	14	13	8	43

(7) 年間ヒヤリハット・事故報告件数

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計	6年度合計
ヒヤリハット報告	6	7	0	1	1	0	0	0	0	4	0	0	19	3
事 故 報 告	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合 計	6	7	0	1	2	0	0	0	0	4	0	0	20	4

老人保健施設 あじさい苑

(訪問リハビリテーション)

1. 運営方針について

ご利用様一人ひとりが、居宅において可能な限り、継続した日常生活を営むことができるよう、訪問による必要なリハビリテーションを提供し、ご利用者様の心身機能を維持改善させる支援を行いました。

2. 事業内容について

ご利用者様およびご家族様のニーズを把握し、サービス計画に基づいたリハビリテーションの提供を行いました。また、定期的な医師との訪問を行い、ご利用者様の実際の在宅生活や、身体情報を十分把握したうえでリハビリテーション内容を決定しました。ご自宅でのリハビリテーション会議や、リハビリテーション計画書を作成し、LIFE によるフィードバックも加えながら方向性の修正を行いつつ、訪問を実施しました。また、リハビリテーションマネジメント加算を導入し、LIFE 入力を活用することにより、コスト向上に努めました。

3. サービス内容について

医師の指示に従い、日常生活の維持改善を目的に訪問を実施しました。

ご利用者様の心身の状態を把握し、筋力や関節可動域、移動動作などを中心に身体能力の維持改善を実施しました。ご利用者様、ご家族様、ならびにケアマネージャーとの相談や連携を行い、適切な指導・助言が行えるよう努めました。

4. 資質向上について

BCP、高齢者虐待をはじめとするその他の学習を行い、医療従事者としての知識、技術を向上させる自己啓発に努めました。

5. 苦情・リスクマネジメントに対する取り組み

ご利用者様、ご家族様からの苦情・要望に対し、早期解決を行うために、担当ケアマネージャー等の協力を得ながら、質の高いサービスが提供できるよう、迅速かつ適切に対応しました。

6. 安定したご利用者様の確保

月間100～110件の訪問数を目標に各事業者アプローチを行い、事業をすすめてまいりました。当初の予定予約数(90～100件)は確保するも、高齢化にともなう体調不良のご利用者様の増加や、ご家族様の介護負担軽減を補うためのショートステイ利用の増加によりキャンセル数が増加し、実績数としては月間80件前後の訪問となりました。今後は各事業所と連携をとりつつ、引き続き安定した訪問数の確保に努めます。

老人保健施設あじさい苑 訪問リハビリテーション 令和7年度利用実績

(1) 市町村別利用者数 (単位:人)

令和8年3月31日現在

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	その他	R7年度合計
男性	4	3	2	1	0	10
女性	14	3	4	1	0	22
合 計	18	6	6	2	0	32
比率	56.3%	18.8%	18.8%	6.3%	0.0%	100%

(2) 年齢別構成 (単位:人)

令和8年3月31日現在

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	R7年度合計	最高齢	R7年度比率
男性	0	2	5	10	0	17	99歳	53%
女性	1	1	8	5	0	15	97歳	47%
合 計	1	3	13	15	0	32		100%

(3) 介護度別構成 (単位:人) ※1年間で介護度が変更になった方を含み、延べ人数で記載

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	R7年度合計
男性	0	0	5	0	3	2	2	12
女性	9	4	5	2	0	5	1	26
合 計	9	4	10	2	3	7	3	38

(4) 月別利用者実績 (単位:人)

令和8年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度合計
利用者数	69	73	77	85	56	67	73	65	87	81	78	81	892
平均数(日)	3.5	3.7	4.1	4.3	3.1	3.7	3.7	3.6	4.4	4.5	3.9	3.9	3.9
月予約数	105	97	89	97	90	93	95	88	101	92	88	99	1,134
月キャンセル数	36	24	12	12	34	26	22	23	14	11	7	21	242

(5) 年間ヒヤリハット・事故・苦情報告件数

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計
ヒヤリハット数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
事 故 報 告 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦 情 報 告 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

短期入所施設 グリーンヴィレッジ古座川

1. 運営について

運営理念である「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を念頭に、介護保険制度の趣旨に沿って、ご利用者様が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう支援するとともに、ご利用者様の心身機能の維持・向上ならびにご家族様の身体的および精神的負担の軽減につながるよう支援いたしました。

また、心の通い合う明るい施設として地域社会の要請に応え、安心してご利用いただけるサービスの実現に向けて、職員全員が一丸となって取り組みました。

介護保険制度による利用者は、年間延 6,773 名、加えて古座川町委託による要介護者等短期入所事業を行い、これらのご利用者様を合計すると、年間延利用者は 6,959 名で、1 ヶ月の利用者は 580 名、1 日平均 19.1 名のご利用がありました。

市町村別の実績では、古座川町 50.4%、串本町 42.4%、那智勝浦町 7.2%でした。また介護度別では、要介護 1 が 17.1%、要介護 2 が 22.6%、要介護 3 が 33.0%、要介護 4 が 20.8%、要介護 5 が 6.0%の割合でした。

2. 処遇について

(1) 日常生活

朝の体操をはじめ、ADL ゲームなどへの参加や声かけあるいは誘導などを行い、ご利用者様の心身機能の維持に努めました。また、施設内の清掃・消毒・換気には特に気配りをし、近隣地域におけるコロナウイルスまん延時においても安心して過ごせる環境の提供に努めました。

(2) 健康管理

看護職による健康チェックにより、健康状態の把握と疾病などの早期発見に努めました。また、病状などの変化・要望に対してご利用者様および主治医と連携し、ご利用者様が安心かつ快適に過ごすことができるよう取り組みました。

(3) 食生活

ご利用者様のご要望や検食による職員の意見を反映させた献立により、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、ご利用者様の心身の状況や嚥下状態に応じた食事の提供に努めました。

(4) 入 浴

週 2 回の定期入浴と週 1 回の随時入浴により、一般浴槽と機械浴槽を使用して、ご利用者様の身体状況にあった入浴を提供しました。

(5) 排せつ

ご利用者様の希望や心身の状態に応じて、トイレあるいはポータブルトイレを使用し、声かけ・誘導などの介助を行いました。またおむつを使用されているご利用者様については、定時交換および随時交換を行いました。

3. 意志や人格を尊重した生活支援

ご利用者様・ご家族様の思いや要望を尊重し、身体・心理、社会的側面から支援の必要性を導き出しながら自立度が向上できるよう、計画的な生活支援を実施しました。退所時には、ご利用者様の生活状況や身体状況について、「生活メモ」によりご家族様に報告し、退所後の自宅生活につながるようサポートを行いました。

4. 研修体制の充実

コロナ感染症予防を重視し全体研修の開催・参加を控えましたが、WEBを利用した外部研修の受講や事業所内での各種研修を従来通り積極的に行い、職員の資質・知識・技術向上に努めました。

5. 身体拘束廃止・高齢者虐待防止

身体拘束禁止規定の遵守に努め、ご利用者様の尊厳を守るために、不要な行動制限をしないよう事業所内研修などで周知徹底をはかりました。

また、委員会活動や研修を通して、身体拘束行為が高齢者虐待につながりやすいことの理解を深め、虐待防止対策についての知識向上に努めました。

6. リスクマネジメントおよび苦情に対する取り組み

「リスクマネジメント委員会」を設置し、「ヒヤリハット報告書」・「事故報告書」をもとに事例検討を行うとともに、ご利用者様の心身の状態や取り巻く環境を十分に把握し、職員間で情報を共有することにより、再発の防止に取り組みました。

また、「苦情申し出窓口」を設置するとともに、苦情受付担当者を配置し、苦情が発生した場合には「苦情解決要綱」にしたがい、積極的かつ速やかに対処し、サービスの向上に努めました。

7. 感染症の発生予防とまん延予防対策

感染症委員会の活動や事業所内研修を通して、感染症発生予防とまん延防止対応を迅速に行いました。また、職員に対し専門職からの指導や研修を通じて感染症に対する知識の習得をはかり、その予防に努めました。

8. 施設の稼働状況について

地域の要請に応え新規利用受付などを積極的に行い、健全な事業所運営に努めましたが、今期の稼働率は76.3%となり、前期を下回る結果となりました。

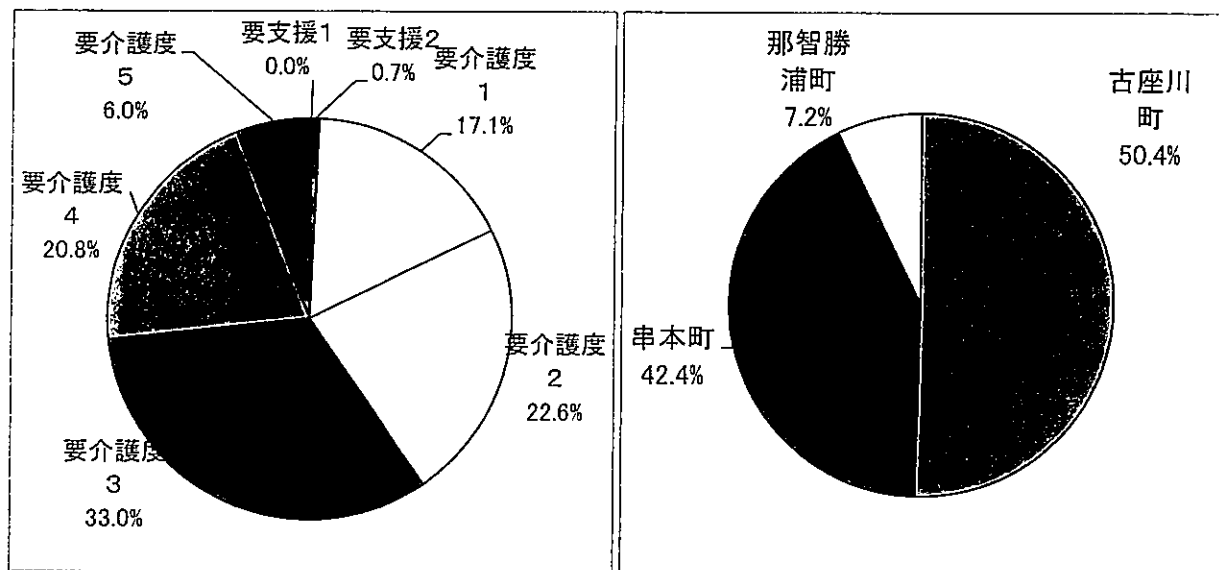
来期は稼働率の上昇に注力し、選ばれる施設を目指して、安心してご利用いただけるサービスの質を確保し、地域の皆様の要望に応えられるよう努めます。

短期入所施設 令和7年度実績

1. 介護保険サービス

要介護度別	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5
件数	0	45	1,155	1,530	2,234	1,406	403
合計							6,773

市町村別	古座川町	串本町	那智勝浦町	その他	太地町	新宮市	合計
件数	3,412	2,873	488	0	0	0	6,773



2. その他

町単事業(古座川町)
186

3. 令和7年度実績計

総実績	1日平均	稼働率
6,959	19.1	76.3%

高瀬会訪問介護ステーション

1. 運営について

居宅サービス計画または介護予防サービス支援計画書にもとづき、ご利用者様が可能な限り住み慣れた地域（居宅）において、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護や生活援助などを適切に行いました。

しかしながら、従来から懸念されていた職員の確保が困難な状況となり、令和8年4月1日より事業を休止いたしました。

2. サービスの実施状況

- (1) ご利用者様へのサービス提供にあたって、介護支援専門員が作成した居宅サービス計画（ケアプラン）に沿って、生活目標の達成に向けた具体的な個別の援助計画（訪問介護計画書）の作成に努めました。
- (2) 計画に沿って法令など遵守しながら適切なサービスを提供し、ご利用者様・ご家族様に対し随時相談・助言を行い、利用状態とサービス実施状況の把握を行いました。
- (3) 事業の休止にともない、ご利用者様については、古座川町社会福祉協議会や他の事業所にてサービスや支援を継続して受けられるよう調整いたしました。

3. 訪問介護員としての専門性の確立

- (1) 個々の提供業務内容の評価・改善について定期的に業務改善会議で検討し、サービスの向上に努めました。
- (2) サービス提供責任者が中心となり、各介護員のサービス技量の平準化をはかり、ご利用者様一人ひとりに個別の対応が行えるよう適宜指導に努めました。
- (3) 定期的に在宅介護に関する事業所内での研修を実施するとともに、必要に応じて外部研修にも積極的に参加し、自己研鑽に努めました。

4. 基本的取り組みの姿勢・個人情報の保護について

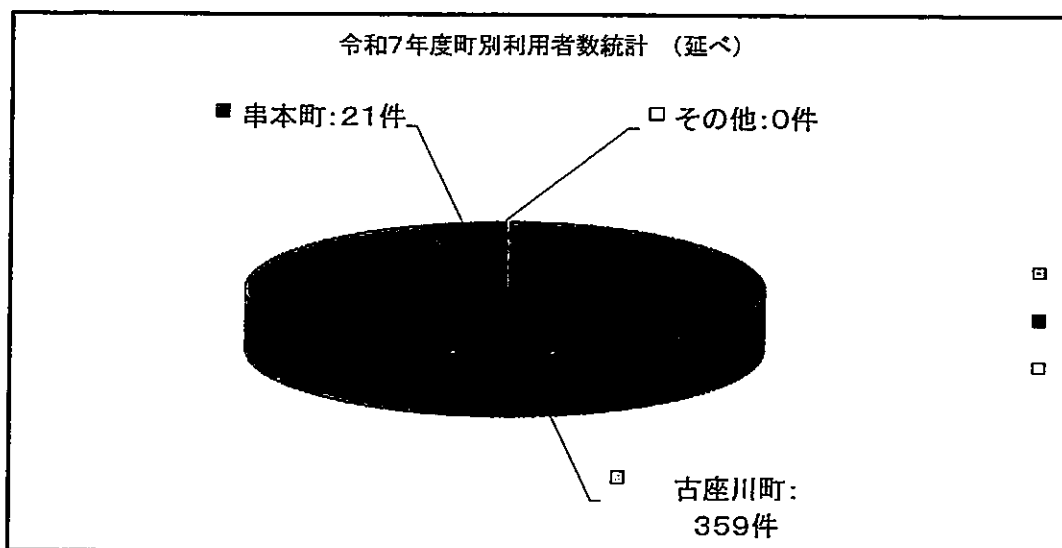
個人情報保護法に従い個人情報を誤った取り扱いをしないよう職員の意識を高め、職場や現場において災害、緊急時、ハラスメントに対する的確な把握等、ご利用者様の人権を尊重し安心して生活が送れるようにつとめました。

5. 苦情に対する取り組み

ご利用者様やご家族様からの苦情や要望に対して、「苦情受付担当者」を配置し、「高瀬会苦情解決要綱」にしたがい、迅速かつ適切に対応しました。

幸い大きな苦情ととらえる事例もなく、事業の運営ができました。

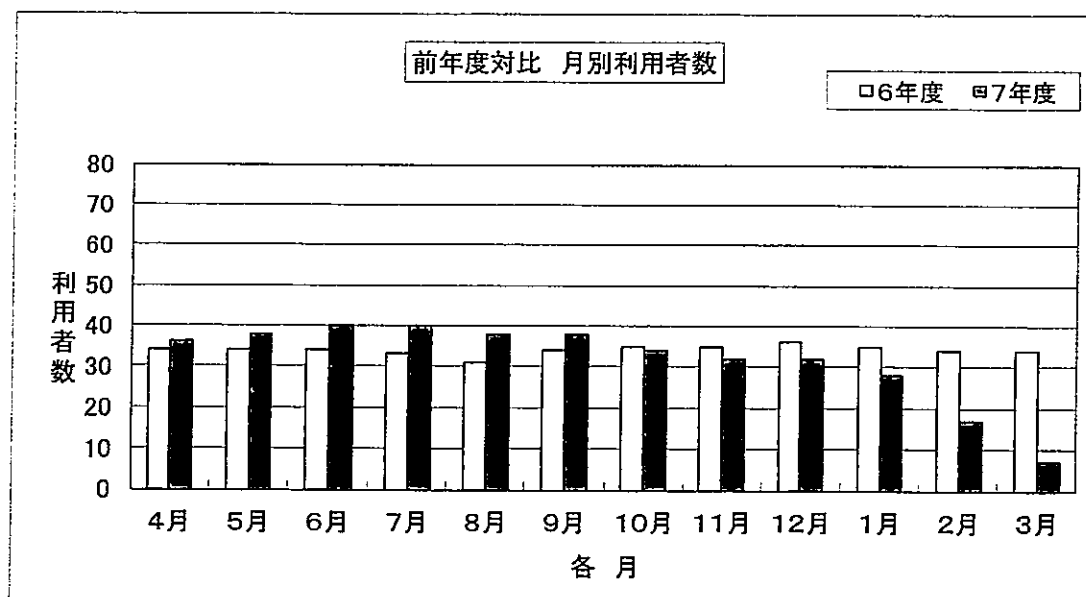
令和7年度 訪問介護ステーション実績(統計)



令和7年度利用者数 統計

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	5	6	14	2	7	1	1	36
5月	0	6	6	15	2	6	2	1	38
6月	0	7	6	16	2	6	2	1	40
7月	0	6	6	16	2	6	3	1	40
8月	1	6	6	16	2	5	1	1	38
9月	1	6	6	15	2	6	1	1	38
10月	1	5	6	13	2	5	1	1	34
11月	1	5	6	11	2	5	1	1	32
12月	1	5	6	11	3	3	2	1	32
1月	1	5	6	9	2	3	2	0	28
2月	1	3	4	4	2	2	1	0	17
3月	1	2	2	1	1	0	0	0	7
合計	8	61	66	141	24	54	17	9	380

前年度対比 月別利用者数



グループホーム もみの樹

1. 役割を持って、安心できる暮らしへ

認知症がありますが、自立支援の取り組みを継続し、ご利用様が自ら力を発揮し、住み慣れた地域の中で幸せに暖かい気持ちで暮らすことを目指し、ご利用様一人ひとりが得意な事や好きな事で役割を持ち、また、ご家族様や地域との関係の中でも役割を持ち続けられる様に支援を行いました。

2. 身体拘束廃止への取り組み

身体拘束等の適正化をはかるため「身体拘束等適正化委員会」を設置し、定期的な委員会の開催と職員への研修を実施しました。

身体拘束はゼロとなっております。

3. 開かれたホームを目指して

地域の方々に気軽に訪問していただくことや、認知症カフェ、地域の食事会、祭りなどの地域行事への参加、保育園児・小学生との交流会など、地域に根ざした活動ができるよう支援を行うことができませんでした。施設内での交流や屋外への外出、ご家族様に面会に来て頂きたい環境づくりを行い面会の機会が増えました。

4. 介護サービス情報の公表と自己評価

地域の方々に選んでいただける施設になるよう、標準化された介護サービス情報の公表を行いました。また、自己評価にて提供するサービスの質の評価を自ら行いました。

5. 運営推進会議を活かした取り組み

ケアの質の向上および地域に開かれた事業運営を行うため、ご家族様や地域の人々などから構成される運営推進会議(協議会)を年間6回開催し、事業活動状況の報告などを行うとともに、評価・要望・助言を得るよう努めました。

6. 稼働率の安定

ご利用様の健康管理と適切なケアの提供により、ご利用様が健康的な日常生活が送れるよう支援を行い、稼働率の安定に努めました。

グループホーム もみの樹 令和7年度 利用者実績

(1) 市町村別利用者数（令和8年3月31日現在）

	古座川町	太地町	那智勝浦町	串本町	合計
男 性	1	0	0	1	2
女 性	5	0	0	2	7
合 計	6	0	0	3	9
割 合	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%

R6年度
1
7
8
100.0%

(2) 年齢別利用者数（令和8年3月31日現在）

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計	最高齢
男 性	0	0	0	2	0	2	97
女 性	0	0	3	3	0	6	98
合 計	0	0	3	5	0	8	平均91.1

R6年度
96
97
平均89.6

(3) 介護度別利用者数（令和8年3月31日現在）

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男 性	0	1	1	0	0	0	2	1.5
女 性	0	1	2	1	2	0	6	2.6
合 計	0	2	3	1	2	0	8	4.1

R6年度
2.0
3.0
5.0

(4) 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	250	279	270	259	256	246	253	252	279	279	252	248	3,123
実 員	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
稼働率	93%	100%	100%	93%	92%	91%	90%	93%	100%	100%	100%	92%	95.3%

R6年度
3,133
95.5%

(5) リスクマネジメント報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット報告	18	14	10	18	16	11	5	2	16	5	8	4	127
事故報告	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	4

R6年度
140
8

(6) 入居待機者数（令和8年3月31日現在）

	古座川町	太地町	那智勝浦町	串本町	合計
男 性	2	1	0	0	3
女 性	1	0	0	2	3
合 計	3	1	0	2	6

R6年度
5
11
16

グループホーム 湯ごりの郷

1. 個別ケアの推進

ご利用者様一人ひとりが、日常生活の中で役割を持ちながホームでの生活を過ごしていただくため、調理や食器洗い、洗濯物の整理に職員と一緒に取り組んでいただけるよう支援行いました。季節のイベントも開催し、楽しんでいただくことができました。

ご利用者様の状態に応じ、週1回のカンファレンスを通して、水分・食事・排せつ・歩行ケアをスタッフ全員が適切に取り組めるよう心掛けてきました。自然な排便をサポートすることで、健康的で安定した生活につなげることができました。

2. 医療連携体制・看取り介護の強化

訪問看護ステーション・医療機関との連携により、ご利用者様の健康管理や身体の状態をより綿密に相談することで、健康管理を行ないました。

ご利用者様の状態や情報をご家族様と共有し、終末期の過ごし方を寄り添いながら考える機会をつくりました。何度も繰り返し検討を行うなうことで、後悔なくお見送りできるようサポートし、その人らしく穏やかに過ごしてもらう看取りの達成にむけ、ご利用者様を中心に看取り介護を行い、職員みんなが、「最期まで、ここで居てもらえてよかった。」と思えることができました。

入院も減り、稼働率97%を達成することができました。

3. 人材育成・確保の強化

理念を共有し虐待は、許されることではないことを職業倫理に照らし合わせなどの学習を行いました。自立支援介護の基本的な4つのケアの知識を深めることから、排せつの場面では、下剤を中止し、腸内環境の改善からの取り組みなどにより自然な排便を促すことができました。

感染症対策については、標準予防策を徹底し、感染拡大に至ることなく、過ごすことができました。感染拡大の経験により、感染予防策への職員の意識が高まってきたと感じています。

排泄ケアでは、水分補給と歩行運動によって、日中の排尿回数を増やし、夜間にぐっすり休んでもらえるようになってきました。

知識を理解し、実践することで、具体的な成果をあげ達成できた喜びを職員一人ひとりの「働きがい」とし、高瀬会で働く職員としての喜びを追求しました。

グループホーム 湯ごりの郷 令和7年度利用者実績

(1) 市町村別利用者数（令和8年3月31日現在）

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	合計
男 性	1	0	0	0	1
女 性	12	4	0	1	17
合 計	13	4	0	1	18
割合	72.2%	22.2%	0.0%	5.6%	100.0%

R6年度
3
14
17
100.0%

(2) 年齢別利用者数（令和8年3月31日現在）

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計	最高齢
男 性	0	0	1	0	0	1	84
女 性	0	1	3	12	1	17	101
合 計	0	1	4	12	1	18	平均91.4

R6年度
97
102
平均92.8

(3) 介護度別利用者数（令和8年3月31日現在）

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男 性	0	0	1	0	0	0	1	1.0
女 性	0	5	1	5	3	3	17	2.8
合 計	0	5	2	5	3	3	18	2.7

R6年度
1.6
3.0
3.1

(4) 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	520	556	517	558	558	540	558	537	509	545	481	526	6,405
実 員	18	18	19	19	18	18	18	18	18	19	19	19	
稼働率	96.3%	99.6%	95.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.4%	91.2%	97.7%	95.4%	94.3%	97.48%

R6年度
6,303
95.97%

(5) リスクマネジメント報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット報告	8	8	6	0	2	9	4	9	10	8	0	1	65
事故報告	2	1	2	1	0	0	2	1	3	0	2	3	17

R6年度
86
11

(6) 入居待機者数（令和8年3月31日現在）

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	合計
男 性	4	0	0	0	4
女 性	14	1	1	1	17
合 計	18	1	1	1	21

R6年度
3
15
18

小規模多機能ハウス 湯ごりの郷

1. 運営方針について

介護や支援が必要な状態になっても、ご利用者様が今までに築いてきたご家族様や地域との関係を大切にし、住み慣れた地域で今までと変わらない暮らしが続けられるよう取り組んできました。また、馴染みの関係や場所で、認知症があっても仲間と一緒に安心ある生活ができるよう、ご利用者様の思いや望み、心身の状況などに応じて「通い」「泊まり」「訪問」を柔軟に組み合わせ、365日24時間切れ目のない支援でご利用者様の安心ある暮らしを目指して取り組みました。

2. 「地域の中でいつまでも笑顔で過ごせるように」に基づいた支援

事業所理念を目指し、ご利用者様一人ひとりの気持ちに向き合い、思いやの望み、心身の状況や環境を理解し、ご利用者様が大切にしてきたものを一緒に大切にしながら、地域での暮らしを継続できるようご利用者様本位の支援に努めました。

3. 柔軟で一体的、継続的な支援

ご利用者様に、「通い」「泊まり」「訪問」サービスを提供しながら、できる限り自宅での暮らしを継続できるよう支援してまいりました。また、重度の医療、介護が必要な方には、医療機関や施設、在宅サービスを紹介し、ご利用者様にあったサービスが受けられるように支援いたしました。

また、電話での見守り、緊急時の相談や訪問を行い、ご利用者様が地域の中で安心して過ごせるように支援いたしました。

4. 身体拘束の廃止と尊厳の保持

ご利用者様の尊厳を守るため、身体拘束などの行動を制限する行為は行っておりません。また、日頃から委員会活動を通じ、ご利用者様やご家族様への対応や言動を振り返る機会を持ち、「個人の価値」を大切にできるケアを目指しました。

5. 非常災害及び緊急時の対応と事故防止対策

非常災害時には、迅速・適切に対応できる緊急連絡体制を整備し、市町村や地域との応援体制や情報交換を「運営推進会議」などで行い、対応について検討を重ねました。また、ヒヤリハット報告や事故報告書による検討を行い、大きな事故や感染症などのまん延を防止できる取り組みを行い、安全な生活が送れるように努めました。

6. 地域で暮らし続けることの支援

ご家族様やボランティアの受け入れ、地域行事等の参加により、地域の方との交流や触れ合いの機会を多く持っています。また、積極的に外出を行うことにより、見慣れた景色や馴染みの場所を大切にし、地域に密着した暮らしができる支援に心がけました。

小規模多機能ハウス「湯ごりの郷」 令和7年度利用者実績

(1)市町村別構成(令和8年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	合計
男性	0	1	1
女性	11	4	15
合計	11	5	16
割合	69%	31%	100%

(2)年齢別構成(令和8年3月31日現在)

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計
男性	0	0	0	1	0	1
女性	0	0	5	10	0	15
合計	0	0	5	11	0	16

(3)介護度別構成(令和8年3月31日現在)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0	0	1	0	0	1	3.0
女性	3	6	3	3	0	15	2.4
合計	3	6	4	3	0	16	2.4

	要支援1	要支援2	合計
男性	0	2	2
女性	0	0	0
合計	0	2	2

(4)月別利用者数(月末時)

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計
通い	286	306	339	297	349	385	344	336	353	282	253	322	3,852
泊まり	160	163	179	159	216	232	227	208	223	176	160	215	2,318
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	446	469	518	456	565	617	571	544	576	458	413	537	6,170
登録者数	13	14	16	16	16	16	16	16	16	17	17	16	189

(5)リスクマネジメント事故報告件数

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計
事故報告	1	2	7	5	1	2	0	2	1	1	0	0	22

ふれあいサロン ゆかし庵

<介護予防・日常生活支援総合事業、通所介護事業>

1. 運営について

要支援（事業対象者含む）、要介護と認定されたご利用者様や日常生活になんらかの支障をきたしているご利用者様が、できるかぎり居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、生活支援や機能訓練などを行いました。

2. 処遇について

（1）食 事

ご利用者様の心身の状況や嗜好を考慮した、食事の提供に努めました。

（2）入 浴

一般浴槽を使用し、安全に入浴できるよう、洗身・着脱・移動の見守りや一部介助を行いました。

（3）排せつ

ご利用者様の排せつ能力に応じた、排せつ介助（声かけ・誘導など）を行いました。

（4）アクティビティ

ご利用者様のニーズ・趣味・特技などを把握したうえでアクティビティを実施しました。

（5）機能訓練

ご利用者様の身体能力にあわせて、体操・歩行練習などを実施しました。

（6）ご家族様との連携

ご利用者様の生活状況や身体状況を記した連絡帳を用いて、ご家族様との連携に努めました。

（7）介護予防通所介護サービス計画書、通所介護サービス計画書の作成

ご利用者様1人ひとりのADL（日常生活動作）に応じた介護サービス計画書を作成し、適切なサービスを提供しました。

（8）地域包括支援センターや居宅支援事業所との連携

ご利用者様の利用状況や生活の変化などについて、ケアマネージャーに随時報告し、相互に連携をはかりました。

ふれあいサロン「ゆかし庵」 令和7年度利用実績

(1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	稼働率(%)
6年度	218	122	442	1,133	380	358	9	0	2,662	43.0%
7年度	150	211	715	867	438	438	24	0	2,843	46.3%

(2) 登録人員・延べ人員 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年比(%)
登録人員	6年度	36	38	38	39	39	42	42	45	45	42	43	44	493	96.6%
	7年度	43	38	41	39	37	37	37	39	38	37	38	36	460	93.3%
延べ人員	6年度	218	215	192	248	217	215	239	245	211	214	205	243	2,662	93.7%
	7年度	244	233	216	262	224	226	239	211	240	247	253	248	2,843	106.7%

(3) 利用者平均介護度

平 均	6年度	1.6
介護度	7年度	1.67

(4) 年間営業日数

年 間	6年度	309
営業日数	7年度	307

(5) 地域別登録利用者数 (単位:人)

令和8年3月31日現在

	那智勝浦町	太地町	新宮市	7年合計	6年合計
男	4	0	0	4	8
女	29	3	0	32	36
合 計	33	3	0	36	44

(6) 年齢別登録利用者数(単位:人)

令和8年3月31日現在

～65歳	65歳～70	70歳～75	75歳～80	80歳～85	85歳～90	90歳～95	95歳～	合 計
0	0	1	0	3	6	16	10	36

(7) 年間ヒヤリハット・事故報告件数

分 類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計	6年度合計
ヒヤリハット報告	4	7	3	4	4	1	4	6	2	3	5	6	49	65
事 故 報 告	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3	6
合 計 (件)	4	7	3	6	4	1	4	6	3	3	5	6	52	71

高瀬会第2訪問介護ステーション

1. 運営について

ご利用者様が住み慣れた居宅において、有する能力に応じて自立した日常生活が送れるよう、身体の介護および生活全般にわたる家事などを適切に実施しました。

事業所が地域社会の一員であることを自覚し、地域の皆様、ご利用者様ならびにご家族様から信頼されるよう相談・助言にも関わり事業の運営に努めました。

2. サービスの実施状況

- (1) 居宅（介護予防）サービス計画書にもとづき、個別援助計画を作成してご利用者様やご家族様のご要望に応じたサービス提供に努めました。
- (2) サービスの提供にあたっては、ご利用者様の意思および人格を尊重し、常にご利用者様の立場に立った支援を心がけました。
- (3) 地域との結びつきを重視し、関係市町村、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、その他の福祉・医療保健サービス事業者との連携にも努め、サービス担当者会議へも積極的に参加しました。
- (4) 各訪問介護員それぞれが専門職としての責任感と誇りを持ち、ご利用者様にきめ細かなサービスを提供できるよう情報の収集に努めました。
- (5) 単にサービスを提供するだけではなく、コミュニケーションをとりながら生活の質の向上（QOL）に努めました。

3. サービス内容について

- (1) 入浴の介助や身体清拭、オムツ交換や更衣介助など、身体介護をご利用者様の負担を少なく適切に行い、不自由なお体でも清潔に保てるよう支援しました。
- (2) 掃除・洗濯・炊事・買い物などの家事全般を適切に援助して、ご利用者様やご家族様の負担が軽減できるよう努めました。
- (3) ご利用者様やご家族様の身近な相談相手として、介護に関することや生活状況について関係機関などとも連携して適切に指導・助言行いました。

4. 訪問介護員としての資質の向上

地域での研修や医療・介護に関わる講演などへ積極的に参加し、訪問介護員としての資質向上に努め、業務内容の改善にもつなげました。

各訪問介護員には随時研修の機会を設け、介護技術や感染症対策の技術指導ならびに社会人としてのマナー研修などを実施し、質の高い訪問介護員となれるよう育成をはかりました。

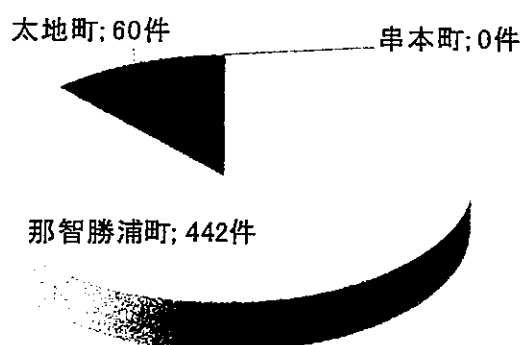
5. 苦情・要望への対応

ご利用者様やご家族様からの苦情・要望に対して、早期に解決できるようケアマネージャーや関係機関などにも協力を仰ぎ、迅速かつ適切に対応しました。

辛い大きな苦情ととらえる事例もなく、一年間事業が運営できました。

令和7年度 第2訪問介護ステーション実績(統計)

令和7年度 町別利用者数統計(延べ)

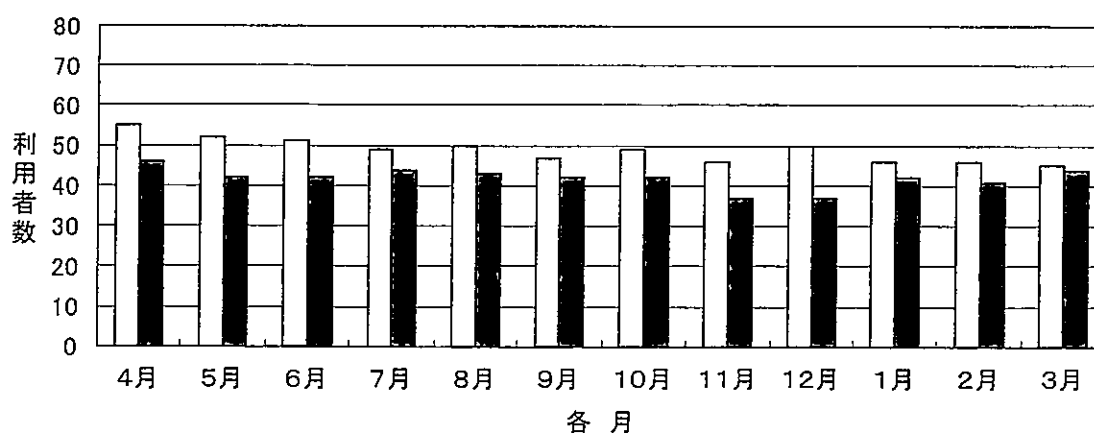


令和7年度分 利用者数 統計

	地域支援	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	3	12	15	6	9	1	0	0	46
5月	0	3	10	12	7	9	1	0	0	42
6月	0	3	10	11	8	9	1	0	0	42
7月	0	3	11	10	9	9	1	0	1	44
8月	0	3	10	10	10	7	1	0	2	43
9月	0	3	9	9	13	6	1	0	1	42
10月	0	3	9	10	11	6	1	1	1	42
11月	0	3	9	8	8	5	1	3	0	37
12月	0	3	7	11	7	4	1	4	0	37
1月	0	4	7	11	10	3	1	6	0	42
2月	0	4	6	11	11	3	1	5	0	41
3月	0	4	5	14	12	3	1	5	0	44
合計	0	39	105	132	112	73	12	24	5	502

前年度対比 月別利用者数

□令和6年度 ■令和7年度



古座川町高齢者生活福祉センター ささゆり

1. 運営について

法人理念である「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」のため、介護予防・機能訓練の充実、サービスの質の確保と向上に取り組みました。

食の自立支援事業では、食事を提供するとともに、ご利用者様の安否確認を行いました。

生活支援ハウスでは、入居者の日々の生活を見守るとともに、支援を行いました。

2. 処遇について

I デイサービス部門

(1) 通所介護サービス計画の作成

ご利用者様一人ひとりの状態などを踏まえたうえで、作成された通所介護サービス計画にもとづき、サービスを提供しました。

(2) 食 事

献立表をもとに、ご利用者様一人ひとりの身体の状態や嗜好などを考慮して、食事の提供に努めました。

(3) 入 浴

ご利用者様の状態にあった、入浴介助を行いました。

(4) 排せつ

ご利用者様の状態に応じ、声かけ・誘導による排せつ介助を行いました。

(5) 機能訓練

ご利用者様の心身の状態に応じて、日常生活を送るために必要な身体機能の維持に努めました。

II 配食部門

おおむね65歳以上の単身世帯・高齢者のみの世帯で、調理が困難な方を対象にして、栄養バランスのとれた食事による配食サービスを行いました。

III 居住部門

デイサービスのご利用者様との交流や、各種相談・助言などを行うとともに、在宅福祉サービスを必要とするご利用者様については、その利用手続きについて援助を行いました。

古座川町高齢者生活福祉センターささゆり 令和7年度利用実績

(1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	事業対象者(1)	事業対象者(2)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	稼働率(%)
R6年度	244	310	837	431	124	0	0	1,946	50.7%
R7年度	224	149	1,084	208	79	4	0	1,748	45.2%

(2) 実人員・延べ人員 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年比(%)
実人数	R6年度	29	27	32	29	29	27	25	26	25	23	22	22	316	
	R7年度	25	25	24	22	23	24	24	24	24	23	20	23	281	88.9%
延べ人数	R6年度	207	188	185	168	170	155	179	161	135	133	132	133	1,946	
	R7年度	152	164	145	152	136	148	161	137	155	135	126	137	1,748	89.8%

(3) 利用者平均介護度

平 均	R6年度	1.27
介護度	R7年度	1.14

(4) 年間営業日数

年 間	R6年度	256
営業日数	R7年度	258

※事業対象者も含む

(5) 登録利用者数 (単位:人)

3月31日現在

	R7年度	R6年度
男 性	7	5
女 性	16	17
合 計	23	22

(6) 年齢別登録利用者数 (単位:人)

令和8年3月31日現在

65歳まで	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合 計
0	0	0	2	5	4	7	5	23

(7) 年間ヒヤリハット・事故報告状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度合計	R6年度合計
ヒヤリハット報告	0	1	0	2	1	0	0	1	0	2	0	0	7	10
事 故 報 告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	1	0	2	1	0	0	1	0	2	0	0	7	10

(8) 食の自立支援事業(配食サービス)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度合計	R6年度合計
配 食 数	101	101	111	119	113	125	131	118	132	118	131	147	1,447	1,495

(9) 生活支援ハウス(居住)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入 居 者 数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

南紀ケアプランセンター

1. 運営について

介護保険制度における要介護者が、各種サービスを利用できるように、ご利用者様とご家族様の委託を受け、居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、各種サービス事業者との連絡調整を行い、居宅介護支援に努めました。また、本年度8月には串本事業所と合併、介護支援専門員5人体制となり、担当地区を拡大して訪問支援を行うとともに、2月には特定事業所加算Ⅱの届出を行い、担当件数や収益の拡充に努めました。
(延べ件数 1,597 件、詳細別紙)

2. 事業内容

I 居宅介護支援業務

- ・ 地域におけるフォーマルな介護サービスとあわせて、インフォーマルなサービスについても情報収集を行い、幅広いニーズに対応するよう努めました。
- ・ ご利用できるサービスの内容などの情報を、ご利用者様とご家族様に提供しました。
- ・ ご利用者様の自立した日常生活を支援するうえで必要な、解決すべき課題の把握を行い、その課題に対応させた居宅サービス計画の原案を作成しました。
- ・ 事前に聴取を行いながらサービス担当者会議を開催し、専門的意見の収集およびサービスの調整を行いました。
- ・ ご利用者様にサービスの内容について説明を行ったうえで、居宅介護サービス計画(ケアプラン)およびサービス利用票の作成を行い、同意を得ました。
- ・ 新型コロナやインフルエンザ感染症対策を行いながら、ご利用者様への訪問によるモニタリングの実施ならびにサービスの調整・変更を行いました。
- ・ ご利用者様が在宅生活困難となり、入所・入院を希望される場合には、関係施設への照会などの便宜の提供を行いました。
- ・ 医療サービスの利用希望や必要が生じた場合には、ご利用者様の同意を得て、医師の意見を聴取しました。
- ・ ご利用者様が入院した際には、ご利用者様・ご家族様のご理解を得たうえで病院に情報を提供しました。また、退院する際には、不安なく在宅生活が送れるよう病院スタッフと連携をはかりました。
- ・ 介護予防支援について、本年度は2名の継続支援を行いました。
- ・ 新型コロナやインフルエンザ感染症対策に関しては、法人内「感染症対策委員会」の決定事項にしたがい、各事業所と連絡を取り合い、調整を行いました。
- ・ 福祉用具について必要な情報を提供し、ご利用者様の希望により購入の手続きを代行し、介護保険対象品については、受領委任払いを含む購入費の支給手続きを行いました。

- ・ 住宅改修について、手すりの設置や段差解消などの住宅改修の相談を受け、業者への見積もり依頼や介護保険の対象となるかどうかの確認などをしたうえで、ご利用者様に報告するとともに保険者に事前連絡し、改修を依頼しました。また改修実施後に、受領委任払いを含む介護保険支給の手続きを行いました。
- ・ サービス事業所より実施状況を確認し、給付管理票を作成のうえサービス費の請求業務を行いました。
- ・ 厚生労働省が本年度より国保中央会において開始されたケアプランデータ連携システムを継続活用し、事業についての意見交換も行いました。

Ⅱ 介護支援専門員研修

- ・ 事業所内における研修会を開催し、専門性の向上に努めました。
- ・ 地域包括支援センターを中心とした支援事業所の研修会に参加し、地域の現状や問題点、介護支援事業所としてのあり方などについて理解を深め、介護支援専門員としての資質の向上に努めました。
- ・ 介護支援専門員業務の継続実施のため、資格更新研修を受講。専門員業務の再確認と最新の支援内容などを学び、支援業務の知識向上に努めました。（法定研修：主任介護支援専門員更新研修1名、介護支援専門員更新研修1名）

Ⅲ 多職種連携

(1) 医療機関との連携

- ・ より良い介護支援において必要な医療と介護の連携については、県や医療機関、他機関とともにメンテナンス協議を行い、連携強化に努めました。
- ・ ご利用者様の退院支援がスムーズに行えるよう、医療機関との連携をはかりました。

(2) 地域ケア会議への参加

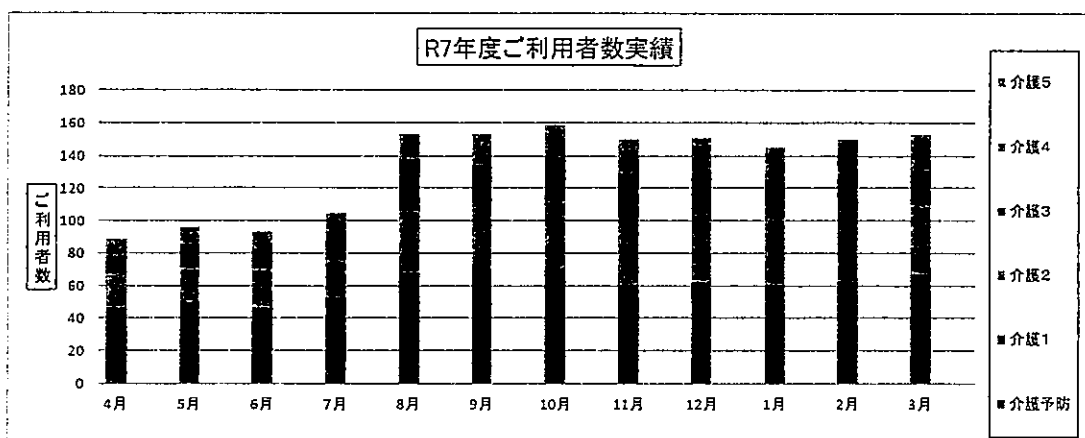
- ・ 地域包括支援センターが主催する地域づくりのための地域ケア会議に参加し、関係機関のさまざまな職種の方々と協議を行いました。

(3) 包括支援センターとの連携

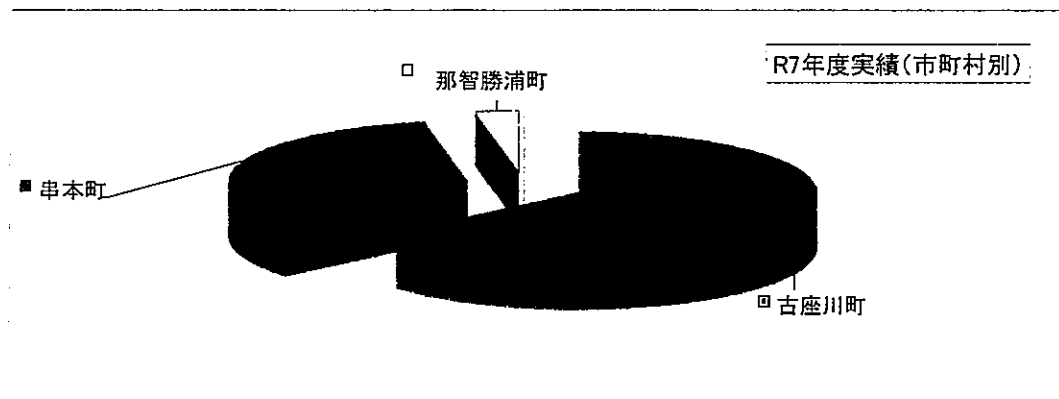
- ・ 虐待事案が発生した際、包括支援センターおよび保険者、関係機関と協議し、連携をはかり、ご利用者様介護者様への助言指導、サービス対応など支援業務を行いました（事例1件）。
- ・ 成年後見人が必要と判断されるご利用者様について、包括支援センターおよび保険者と協議を重ね、必要に応じた支援を行いました。

南紀ケアプランセンター 令和7年度実績 利用者実績

	介護予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
4月	2	44	21	11	7	4	87	89
5月	2	48	21	14	7	4	94	96
6月	1	45	24	12	5	6	92	93
7月	1	52	23	17	6	6	104	105
8月	1	67	38	32	7	8	152	153
9月	1	69	38	26	11	8	152	153
10月	1	70	41	27	13	7	158	159
11月	1	60	41	27	15	6	149	150
12月	1	61	42	24	18	5	150	151
1月	1	60	40	25	15	4	144	145
2月	1	61	44	20	20	4	149	150
3月	2	65	43	21	18	4	151	153
合計	15	702	416	256	142	66	1,582	1,597



	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
古座川町	0	525	220	132	84	47	1,008	1,008
串本町	0	155	178	124	52	19	528	528
那智勝浦町	15	22	18	0	6	0	46	61
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	702	416	256	142	66	1,582	1,597



南紀ケアプランセンター那智勝浦

1. 運営について

要介護の状態となったご利用者様に対し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようご利用者様やご家族様の意向にもとづき、適切に保健・医療・福祉サービスなどを総合的かつ効率的に提供し、チームとしてのケアに努めました。

また、各種サービスの提供が、常にご利用者様の立場にたって公正中立に行われているかを確認し、各役場福祉課、地域包括支援センターや介護保険施設などとも連携をはかり事業の運営に努めました。

2. 事業内容

(1) ケアマネジメント業務

- ・ご利用者様、ご家族様のニーズを正確に把握するため、アセスメントシートを活用し、真の要望にお応えするようつとめました。また、自立支援につながるよう、インフォーマルサービスを位置づけ居宅サービス計画書を作成しました。
- ・支援目標にむけてサービスが適切に提供され、ニーズの解決につながっているかを事業所からの実施状況報告書や個別援助計画書の提出を依頼し、連携をはかりながらご利用者様の状態の変化に迅速に対応できるよう努めました。
- ・ご利用者様宅に適宜訪問して、生活目標の達成度を確認し、必要に応じてサービス計画書の見直しを行い、生活課題の解決に努めました。

(2) その他の支援業務

- ・介護保険給付サービス以外にも、近隣の医療情報の提供、配食サービス、介護用品支給事業などのインフォーマルサービスなども積極的に助言し支援しました。

3. 専門職としての相談業務

専門職の役割が果たせるよう、常に窓口はオープンにし、ご利用者様のご家族様や地域の方々、各種事業所などから気軽に相談していただけるように努めました。

4. 高齢者の権利の養護

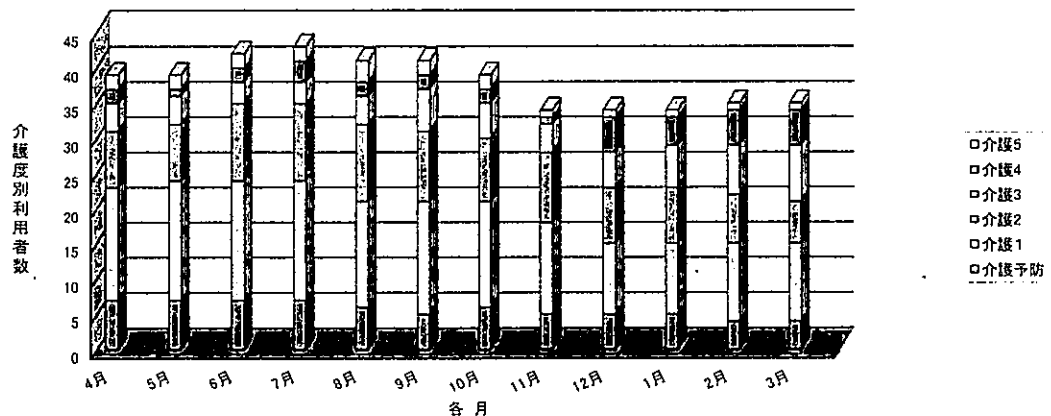
事業所が関わるケースからは、幸い虐待と思われる事例はなく、ご利用者様の権利が擁護できました。

各種事業所とも連携をはかり早期の発見・予防に努めました。

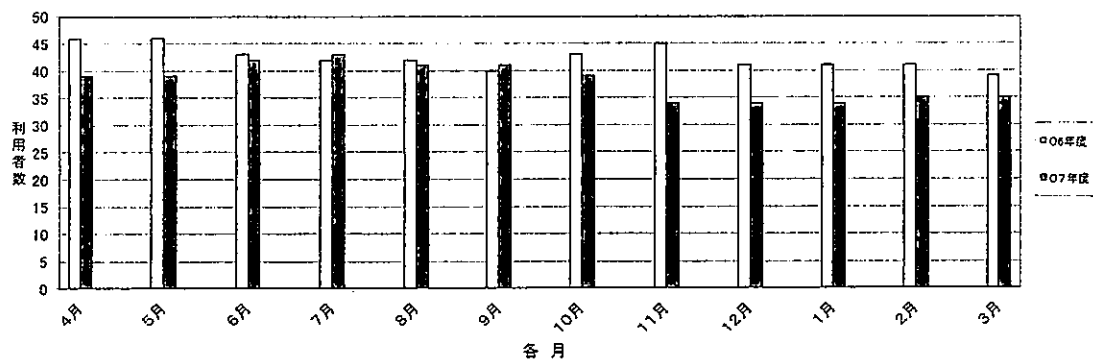
南紀ケアプランセンター那智勝浦 令和7年度実績

(単位 : 人数)

	介護予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
4月	7	16	8	4	2	2	32	39
5月	7	17	8	4	1	2	32	39
6月	7	17	11	3	2	2	35	42
7月	7	17	11	3	3	2	36	43
8月	6	15	11	4	2	3	35	41
9月	5	16	10	6	2	2	36	41
10月	6	15	9	5	2	2	33	39
11月	5	13	10	4	1	1	29	34
12月	5	10	8	5	5	1	29	34
1月	5	10	8	6	4	1	29	34
2月	4	11	7	7	5	1	31	35
3月	4	11	6	8	5	1	31	35
合計	68	168	107	59	34	20	388	456



前年度対比 月別利用者数

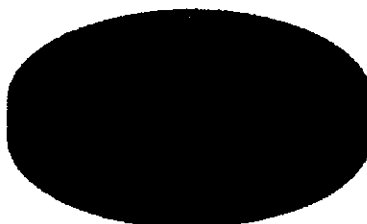


古座川町 0件

R7年度実績(市町村別)

新宮市 0件

太地町 33件



那智勝浦町 423件

南紀ケアプランセンター串本

1. 運営について

介護保険制度における要介護者が各種サービスを利用できるよう、ご利用者様とご家族様からの委託を受け、居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、各種サービス事業者との連絡調整を行い、居宅介護支援に努めました。

（延べ件数 254 件、詳細別紙）

介護予防支援については、地域包括支援センターからの委託を受け、地域包括支援センターと契約されたご利用者様のサービス計画を作成し、各種サービス事業者との連絡調整をし、介護予防支援を行いました。（延べ件数 19 件、詳細別紙）

令和 7 年 7 月 31 日、人員の確保が困難になったため事業を休止いたしました。それにともない、ご利用者様につきましては、当法人の南紀ケアプランセンターにてサービスや支援を継続して受けられるよう調整いたしました。

2. 事業内容

I 居宅介護支援業務および介護予防支援委託業務

- ・ 地域におけるフォーマルな介護サービスとあわせて、インフォーマルなサービスについても情報収集を行い、幅広いニーズに対応するよう努めました。
- ・ ご利用できるサービスの内容・利用料などの情報を、ご利用者様とご家族様に提供しました。
- ・ ご利用者様の自立した日常生活を支援するうえで必要な解決すべき課題の把握を行い、その課題に対応させた居宅サービス計画の原案を作成しました。
- ・ ご利用者様の在宅生活が困難で、入所・入院を希望される場合には、関係施設への照会などの、便宜の提供を行いました。
- ・ 医療サービスの利用希望や必要が生じた場合には、ご利用者様の同意を得て、医師の意見を聴取しました。
- ・ サービス担当者会議を開催し、専門的意見の収集およびサービスの調整を行いました。
- ・ 居宅介護サービス計画(ケアプラン)、サービス利用票の作成を行いました。
- ・ ご利用者様へのサービス内容の説明と、サービス利用票への同意を得ました。
- ・ ご利用者様への訪問によるモニタリングの実施ならびにサービスの調整・変更を行いました。
- ・ 介護予防支援についても、上記の同様の業務を行うとともに、地域包括支援センターへの報告と書類提出を行い、指導を受けながら、ご利用者様の状態に沿った予防支援を行いました。

Ⅱ 介護保険内のその他のサービスの提供

(1) 福祉用具購入費支給申請の手続き

福祉用具について必要な情報を提供し、ご利用者様の希望により購入の手続きを代行し、介護保険対象品については、購入費の支給手続きを行いました。

(2) 住宅改修の手続き

手すりの設置や段差解消などの住宅改修の相談を受け、業者への見積もり依頼や介護保険の対象となるかどうかの確認などをしたうえで、ご利用者様に報告をしました。また改修実施後に、介護保険支給の手続きを行いました。

(3) 給付管理業務

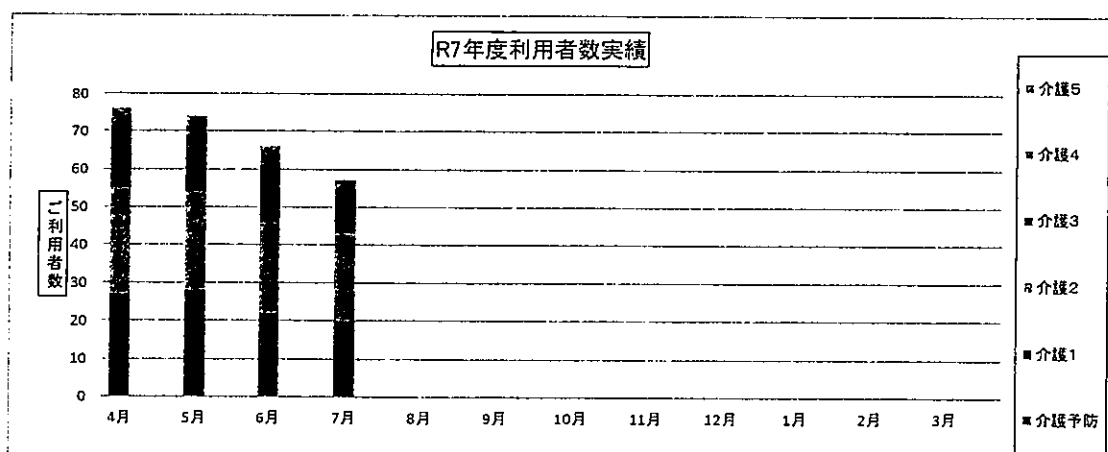
サービス事業所より実施状況を確認し、給付管理票を作成して、サービス費の請求業務を行いました。

(4) 介護支援専門員研修

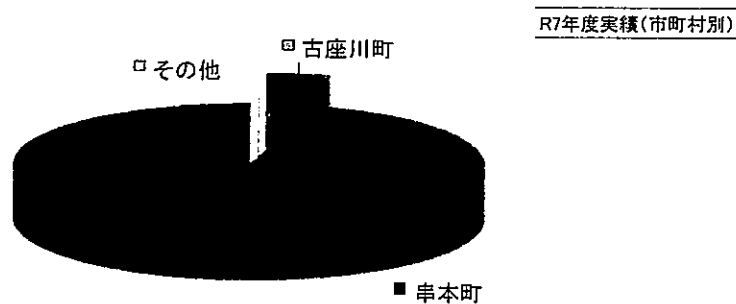
- ・ 県主催の現任研修、介護予防支援従事者就任時研修および現任研修を受講するとともに、研修会を開いて専門性の向上に努めました。
- ・ 地域包括支援センターを中心とした支援事業所の研修会に参加し、地域の現状や問題点、介護支援事業所としてのあり方などについて理解を深め、介護支援専門員としての資質の向上に努めました。

南紀ケアプランセンター串本 令和7年度 利用者数

	介護予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
4月	6	21	28	13	6	2	70	76
5月	7	21	26	15	3	2	67	74
6月	3	19	24	15	3	2	63	66
7月	3	17	23	11	1	2	54	57
8月							0	0
9月							0	0
10月							0	0
11月							0	0
12月							0	0
1月							0	0
2月							0	0
3月							0	0
合計	19	78	101	54	13	8	254	273



	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
古座川町	0	7	4	0	0	0	11	11
串本町	19	71	97	54	13	8	243	262
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	19	78	101	54	13	8	254	273



高瀬会訪問看護ステーション

1. 運営について

主治医の指示のもと、あらゆる世代のご利用者様の心身機能と生活機能の維持・向上を目指し、疾病や障害を持ちながらも、安心して自立した在宅生活が送れるように取り組みました。また、終末期のご利用者様とご家族様に限られた時間を、悔いのないものになるよう支援しました。

ご利用者様の意向を十分に把握した援助を目指して、ご利用者様一人ひとりに応じた訪問看護計画を作成して取り組むとともに、研修や職員間の情報共有・フィードバックに重点を置き、質の高いサービスの提供をはかりました。

2. サービス提供について

- (1) 主治医の指示書と居宅サービス計画書にもとづいて、具体的な個別援助計画を作成し、ご利用者様の要望に応じたサービスの提供を行いました。
- (2) ご利用者様の病状変化と心身の状況あるいは環境などについて、的確に把握するよう努めるとともに、ご利用者様とご家族様に適切な指導を行いました。
- (3) ご利用者様の意思や人格を尊重し、ご利用者様の立場に立って、サービスを提供しました。
- (4) 地域との結びつきを重視し、主治医・居宅介護支援事業者・関係市町村などと密接な連携をはかるよう努めました。
- (5) 「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」を遵守しました。

3. 苦情対応について

ご利用者様やご家族様からの苦情に対して、「苦情申し出窓口」を設置するとともに、苦情受付担当者を配置し、「苦情解決要綱」にしたがい、迅速かつ適切に対応しました。

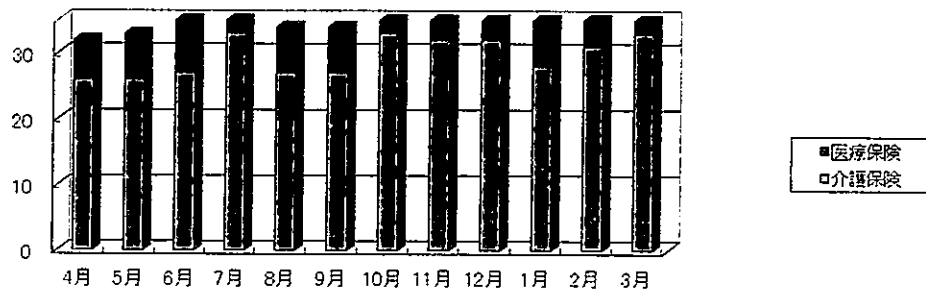
4. 新型コロナウイルス等感染症対応について

ご利用者様やご家族様の感染防止対策を徹底し、医療従事者としての使命感を持ち、法人全体の動きを明確にしました。

令和7年度 高瀬会訪問看護ステーション 実績

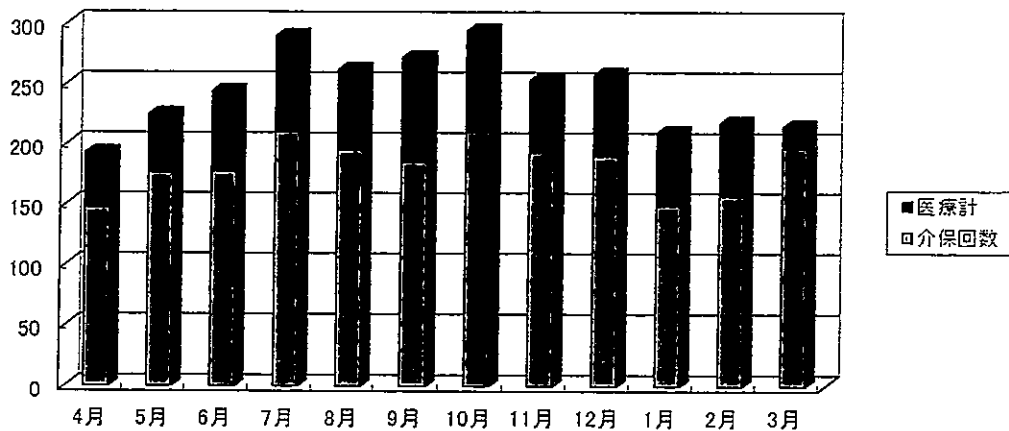
令和7年度件数別実績

	介護保険	医療保険	合 計
4月	26	6	32
5月	26	7	33
6月	27	8	35
7月	33	8	41
8月	27	7	34
9月	27	7	34
10月	33	7	40
11月	32	7	39
12月	32	6	38
1月	28	7	35
2月	31	6	37
3月	33	3	36
合 計	355	79	434



令和7年度種別実績回数

	介保回数	医療計	合 計
4月	147	46	193
5月	176	49	225
6月	177	67	244
7月	210	80	290
8月	195	67	262
9月	185	87	272
10月	210	84	294
11月	193	60	253
12月	190	68	258
1月	149	61	210
2月	157	61	218
3月	197	55	252
合 計	2,186	785	2,971



配食サービスセンター

1. 運営について

古座川町より委託を受けて、事業を実施しました。

実施日数は年間 311 日であり、年間の延利用者は 9,458 名、1 日平均 30.4 名の利用でした。

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	668	703	673	690	682	701	659	651	613	580	626	737	7,983
日数	26	26	26	27	26	26	26	26	26	25	24	27	311

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	723	776	799	751	795	715	700	775	668	654	629	655	8,640
日数	26	26	26	26	27	26	26	26	26	25	24	27	311

令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	610	660	631	595	611	555	632	661	687	667	682	743	7,734
日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	25	25	26	311

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	797	799	702	750	769	772	842	819	782	778	654	734	9,198
日数	26	27	25	27	27	25	27	26	25	25	24	26	310

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	759	814	764	865	833	805	828	741	769	777	770	733	9,458
日数	27	27	25	27	26	26	27	25	26	25	24	26	311

2. 事業実施

調理が困難な単身世帯や高齢者世帯を対象にして、毎日の利用のみならず状況に応じて、突発的な利用の申し込みにも対応し、ご利用者様の食事への不安の解消に努めました。

栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、居宅を定期的に訪問することにより、ご利用者様の安否確認を行いました。

湯ごりの郷 配食サービスセンター

1. 運営について

那智勝浦町より、平成24年5月7日から委託を受け事業を実施し14年目を迎えました。

実施日数は12か月間・258日で、12か月間の延べ利用者数は5,176名、1日平均20名の利用でした。

利用者数は令和6年度より1,914名の減となりました。

要因としては、入院や入所で利用終了される方が増えていることなどが考えられます。

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	569	523	524	591	577	580	557	578	512	505	481	547	6,544
日数	22	21	22	22	22	23	21	22	21	21	20	23	260

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	489	471	557	582	688	657	647	670	630	537	570	681	7,179
日数	21	22	22	21	23	22	21	22	22	20	20	23	259

令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	623	655	508	515	581	540	589	610	515	519	585	610	6,850
日数	20	23	22	21	23	21	22	22	21	21	21	21	258

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	631	589	483	587	577	599	660	644	620	597	547	556	7,090
日数	22	23	20	23	22	21	23	21	21	23	20	21	260

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	545	499	456	452	394	442	429	358	407	382	363	449	5,176
日数	22	22	21	23	21	22	23	20	22	20	20	22	258

2. 事業実施

身体や世帯の状況などにより、食事を作ることが困難な高齢者の方々に、栄養の取れる食事を配達し安否確認を行いました。

日中から玄関を施錠したままで、長時間呼びかけないと応答がない方や、身体的な理由などで自宅内の移動が困難であるため、食事を居室内まで持参して頂きたいと要望される方が増えています。

今後も、高齢者の在宅生活の維持および福祉の増進に努めます。

たかせ会記念診療所

1. 高瀬会高齢者総合ケアセンター各事業所との連携

高瀬会高齢者総合ケアセンターの各事業所と密接に連携をはかるとともに、地域住民との交流を重視する当法人の基本姿勢を踏まえて、地域密着型の保険医療機関として取り組みました。

2. 外来診療の充実

年間の診療者数は219名（前年比7名減、月平均18.2名）、年間の延べ診療回数は243回（前年比32回減、月平均20.2回）でした。（表1）

表1 診療者数・回数推移（令和7年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	16	16	17	21	21	17	18	18	20	16	21	18	219
回数	17	18	19	22	24	18	20	19	22	18	25	21	243

表2 診療者数・回数推移（令和6年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	22	17	14	23	23	17	18	26	17	15	17	17	226
回数	25	18	16	29	26	19	20	34	30	16	19	23	275

3. 保健予防活動の充実

各種予防接種に取り組み、高齢者を中心として延べ44名、当法人職員200名に対してインフルエンザ予防接種を実施いたしました。

また、コロナワクチンにつきましても24名への接種を実施いたしました。

4. 特殊業務などに係る健康診断の実施

法人職員の特殊業務などに係る腰痛検査（年2回）を延べ318名（第1回157名、第2回161名）、夜勤業務従事者の定期健康診断を69名に対して実施いたしました。

5. リスクマネジメント

ご利用者様に関する情報を的確に把握し、事故の予防に努めました。

人材育成事業

1. 運営について

平成28年4月1日より施行した「奨学金貸与規程」にもとづき、法人の理念および活動方針を理解し、法人の経営する施設での就職を希望する後継者を育成する目的で実施しています。

2. 広報・情報提供

地域で開催される就職相談会での奨学金制度の説明や、近隣高等学校の進路指導部を訪問し、新卒者に対する求人活動とともに奨学金の広報を行いました。

また、ホームページなどを活用して、より広く情報の提供に努めました。

3. 奨学金貸与の実施

令和7年度新規貸与者はありませんでした。

年度別貸与状況表(令和8年3月31日現在)

単位:名

年 度	新規貸与者	貸与終了者	備 考
平成 29 年度	0	0	
平成 30 年度	4	3	途中辞退2名 (准看護師、介護福祉士)
令和元年度	0	0	
令和 2 年度	0	2	途中辞退者1名 (理学療法士)
令和 3 年度	0	0	
令和 4 年度	0	0	
令和 5 年度	0	0	
令和 6 年度	0	0	
令和 7 年度	0	0	
計	4	5	